

栃木県県央地域における交通まちづくりに関する

提 案 書

交通まちづくり懇談会

新交通システム導入促進協議会 会長殿

私たち「交通まちづくり懇談会」では、栃木県県央地域における交通まちづくりのあり方について、5回にわたって検討して参りました。その検討結果を踏まえ、県央地域における交通まちづくりに関して、以下のとおり提案いたします。

平成17年4月19日

交通まちづくり懇談会 座長

森本 章倫

## 県央地域における交通まちづくりに関する提案

### 公共交通が支える地域の絆 ～ 人をつなぐ、心をつなぐ、未来へつなぐ ～



#### 1. まちづくりと一体化した質の高い公共交通の充実

栃木県県央地域は、日本有数のクルマ社会となっています。確かに、クルマは便利な交通手段であり、今後も必要な道路整備の充実を図っていくことが重要ですが、一方で、交通渋滞の緩和、中心市街地の再生、地球環境問題への対応、高齢社会における交通手段の確保など、クルマだけでは対応できない課題も数多くあります。

そこで、これからの時代においては、以下に示すような、まちづくりと連携した質の高い公共交通の充実が不可欠と考えます。

##### まちの魅力と魅力をつなぐ公共交通の充実

まちづくりと交通は密接な関係にあり、お互い支えあっています。また、人と人との繋がりではちは発展していくものであり、人が出会う仕掛けを作っていくことが重要です。

県央地域には、豊かな自然を有する地域や便利な都市環境が整った地域など様々な特徴を持った地域がありますが、それらの地域を公共交通でつなげることで、地域と地域の絆を強め、相互交流を図ることが重要と考えます。

特に、県央地域においては、南北方向の公共交通は比較的充実していますが、東西方向には幹となる公共交通がありません。したがって、東西方向に基幹的な公共交通の充実を図ることが重要と考えます。

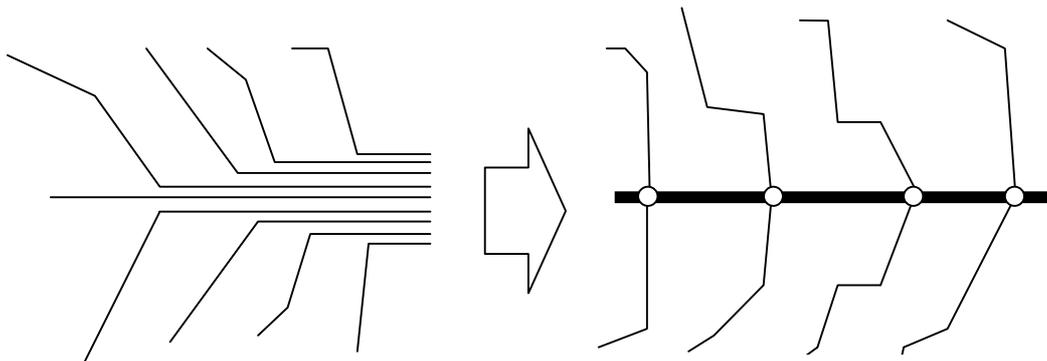
## 公共交通の質の向上～誰にでも利用しやすい公共交通～

公共交通の充実にあたっては、利用者の視点にたって、誰にでも利用しやすい公共交通にすることが重要です。このため、利用者のニーズにあった運行間隔や運行時間の設定、自動車と比較してストレスの感じない速度や定時性の確保、安くてわかりやすい料金、わかりやすい公共交通情報の提供など、公共交通の質の向上を図ることが重要です。



わかりやすいバス案内システム（JR宇都宮駅）

また、公共交通は、複数の鉄道やバスなどが面的にネットワークされて機能するものです。このため、「魚の骨のような公共交通ネットワーク」、「継ぎ目のない(シームレスな)公共交通ネットワーク」という考え方で、わかりやすく利用しやすい公共交通ネットワークを構築することが重要です。



重複したバス路線から「魚の骨のような公共交通ネットワーク」へ

## 公共交通を活かした魅力あるまちづくり～交通とまちづくりの連携～

まちには何かの目的を果たすために出てくるものであり、まちに魅力を作ることが重要です。このため、楽しく歩けるまち、明るく美しいまち、安全で安心のまちといった視点から、公共交通を活かした賑わいのあるまちづくりを行うことが重要です。また、公共交通の充実によって、誰でも暮らしやすいまちづくりを行うことも重要と考えます。



賑わうトランジットモール（仏）

さらに、公共交通は、これらのまちづくりを支える手段であるとともに、情報の発信と交流の場として充実すべきです。

## 2. 交通まちづくりの実現に向けて

1. に示したような理想的な交通まちづくりの実現にあたっては、事業者、行政、住民がそれぞれの役割を果たしていく必要があると考えます。

### 事業者へのお願い

誰にでも利用しやすい公共交通とするためには、バスや鉄道といった交通事業者同士の連携を図ることが重要と考えます。

具体的には、バス停の共通化、重複した路線サービスの調整、時刻表や乗り継ぎ情報などの情報の一元化と効果的な発信、ダイヤ調整による待ち時間の解消、公共交通共通乗車券の導入などにより、継ぎ目のない公共交通システムが実現されることを望みます。

### 行政への期待

行政は、住民ニーズを踏まえ、目指すべきまちづくりの方向を示すとともに、それを支える質の高い公共交通サービスの確保・支援に対して、一定の役割を担うべきと考えます。

併せて、公共交通を活かした魅力あるまちづくりについても、先導的な役割を果たすべきと考えます。

### 私たちにできること

事業者の努力と行政の支援だけでは、理想的な公共交通を支えるには限界があります。私たち住民一人ひとりが「公共交通はまちの財産である」ことを認識し、「公共交通を使おう」という意識改革を行い、クルマの使い方を工夫しながら、環境に優しい公共交通を支えていくべきと考えます。

平成 17 年 3 月

交通まちづくり懇談会

< 懇談会の経過 >

回数	日時・会場	議事
第1回	平成16年10月25日(月) 14:00~16:00 宇都宮市総合福祉センター10階 大会議室	<ul style="list-style-type: none"> <li>交通まちづくり懇談会について</li> <li>交通まちづくりに関する現状と課題について</li> <li>今後の進め方について</li> </ul>
第2回	平成16年12月22日(水) 午前: フィールドワーク(まちあるき) 午後: 宇都宮市総合福祉センター 9A会議室	<ul style="list-style-type: none"> <li>フィールドワーク</li> <li>グループ討議、全体討議...現況の交通の問題点について</li> </ul>
第3回	平成17年1月18日(火) 宇都宮市総合福祉センター 9A会議室	<ul style="list-style-type: none"> <li>グループ討議、全体討議...交通まちづくりについて</li> </ul>
第4回	平成17年2月17日(水) 13:30~15:30 宇都宮市総合福祉センター 9A会議室	<ul style="list-style-type: none"> <li>交通まちづくりに対する提案書(素案)について</li> </ul>
第5回	平成17年3月25日(金) 13:30~15:30 宇都宮市総合福祉センター 2階 視聴覚室	<ul style="list-style-type: none"> <li>交通まちづくりに対する提案書について</li> <li>委員会における検討内容について</li> <li>最終提案書のイメージ(たたき台)について</li> </ul>

< 懇談会メンバー >

	氏名	所属
座長	森本 章倫	宇都宮大学工学部建設工学科助教授
宇都宮市推薦人	森崎 常正	宇都宮市自治会連合会会長職務代理者
	並木 正裕	宇都宮青年会議所理事
	石川 裕夫	元栃木県農業者懇談会事務局長
	奥備 一彦	まちづくり市民団体 駅東まちづくり21
鹿沼市推薦人	石川 昌一	鹿沼市自治会連合会副会長
	西村 松男	鹿沼商工会議所副会頭
真岡市推薦人	田上 貴	政策審議会会長 真岡商工会議所副会頭
	柳田 耕太	政策審議会副会長
芳賀町推薦人	山本 豊	芳賀町自治会連合会会長
	関 光一	芳賀町自治会連合会副会長
高根沢町推薦人	加藤 晴一	高根沢町区長会会長
	阿久井 敏男	高根沢町商工会副会長
市貝町推薦人	小林 重夫	市貝町商工会長
	藤平 元一	JA はが野専務
茂木町推薦人	小野 高義	地域づくり地区会長
	阿島 克行	地域づくり地区会長
公募委員	稲葉 克明	自営業
	小針 協子	主婦
	松本 千穂	学生
	梅林 孟	無職
	藤平 昌寿	自営業
行政機関	栗田 幹晴	宇都宮市総合政策部部長
	広田 靖	芳賀町企画課長